

ぜんかん 基金

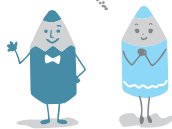
CONTENTS

2023年度 業務報告	2
2023年度 決算報告	4
2023年度 資産運用状況	5
短時間労働者の社会保険加入義務化	5
基金事務局からのお願い	6
団体扱い「がん保険」のご案内	6

2024年9月
第10号



2023年度



業務報告及び決算について

2023年度の業務報告及び決算は、2024年7月25日に開催された第24回
代議員会において、審議のうえ承認されました。

業務報告

2023年度は、加入勧奨活動も充実し、事業継続の備えも順調に進みました。

実施事業所数及び加入者数 (単位：年度、事業所数、人)

事 項	2022(R04)	2023(R05)
事業所数	119	119
加入者数		
第1年金	6,068	6,108
男子	3,842	3,868
女子	2,226	2,240
第2年金*	(557)	(544)
男子	(398)	(390)
女子	(159)	(154)

*第2年金は第1年金適用者の内数

年金通算状況

(単位：年度、件、千円)

移受換状況	2022(R04)	2023(R05)
他制度への資産の移換		
企業年金連合会	13	17
	3,346	5,408
確定拠出年金 (企業型)	2	6
	484	2,088
iDeCo	0	3
	0	882
他制度からの資産の受換		
確定拠出年金 (企業型)	12	10
	31,363	51,266
確定給付企業年金	2	3
	1,390	10,907
iDeCo	0	0
	0	0

掛金の納付状況

(単位：年度、千円)

事 項	2022(R04)	2023(R05)
標準掛金(基準給与に対する掛金率)		
第1標準掛金(97.8%)	281,420	287,367
第2標準掛金(97.6%)	37,611	34,279
事務費掛金		
第1事務費掛金(18.0%)	51,831	52,890
第2事務費掛金(350円/人)	2,378	2,316

給付状況

(単位：年度、件、千円)

事 項	2022(R04)	2023(R05)
年金受給者数	704	729
新規裁定件数		
年金	128	123
一時金	85	93
老齢給付金(年金)		
支払件数	3,275	4,120
支払金額	104,320	114,173
老齢給付金(一時金)		
支払件数	50	49
支払金額	113,709	113,223
脱退一時金		
支払件数	209	266
支払金額	101,837	129,548
遺族一時金		
支払件数	12	14
支払金額	10,740	15,616

会議の開催状況

代議員会	第22回 (2023.7.25)	第6期役員選出 2022年度事業報告及び決算報告
	第23回 (2024.2.22)	財政再計算結果について 2024年度事業計画及び予算案 基金規約変更について 事業所の新規加入について
理事会	第26回 (2023.7.13)	第22回代議員会の提出議題について 第6期代議員選挙の結果報告
	第27回 (2024.2. 9)	財政再計算結果について 第23回代議員会の提出議題について

理事会	第27回 (2024.2. 9)	基金規約変更について 事業所の新規加入について
資産運用委員会	第 1 回 (2023.7.13)	「企業年金の資産運用」講演 山崎 元氏 2023年度における資産配分の変更について
	第 2 回 (2024.2. 9)	2023年1月末現在の運用報告 リバランス報告

第2回 事業所担当者交流会

開催日	2024.1.19 14:00~16:30	開催方式	WEB及び対面
開催場所	AP東京八重洲 10階 Wルーム	参加者数	26名(WEB19 現地7)
内容等	<ul style="list-style-type: none"> ● 講演: 「インボイス制度と電子帳簿保存法への対応について」 ● 講師: 大橋秀夫公認会計士 ● 事例発表: (一社)日本環境測定分析協会 (株)ユニケミー ● 講師も交えて質疑応答を行った 		

事業所加入勸奨活動

2023.10.19~20	日環協・環境セミナー全国大会(静岡)	理事長・常務理事・職員2名出席 会場内ブースにおいて基金PR
2023.11.10	日環協・経営セミナー全国大会(徳島)	理事長・常務理事出席 基金PR
2023.12.12	(株)環境工学訪問	理事長・常務理事
2024.2.16	広島県環境計量証明事業協会研究発表	職員2名出席 会場内ブースにおいて基金PR

事業所等への情報提供

● 事務連絡の発出		
基金が適用する再評価率のお知らせ	4月	事業主
就業規則等の変更に係る提出のお願い	4月	該当事業主
基準給与確認のお願い	6月	事業主
標準掛金の掛金率変更について	2024.3月	事業主
● 仮想個人勘定残高のお知らせ	5月	事業主・加入者
● 参考図書「60歳からの年金、雇用保険、健康保険」の配布	6月	事業主
● 事業所担当者交流会の開催について	12月	事業主
● 積立金運用報告	7月、10月 2024.2月 2024.5月	事業主
● 冊子「ぜんかん基金第9号」	9月発行	事業主・加入者・受給者・受給待期者
● 冊子「ぜんかん基金臨時号」	2024.4月発行	事業主・加入者
● 基金ホームページでの情報更新	随時	

事業継続への備え

- 個人情報文書の電子データ化を完了
- 基金事務所内のサーバに保管している個人情報をクラウド環境に移行準備
AWSのセキュアな環境に移行→2024年4月25日作業完了



(一社)日本環境測定分析協会ホームページへの基金PRバナー広告の掲載

職員研修

- 企業年金連合会(動画・対面) 4名 延べ12回
- 三菱UFJ信託銀行 年金カレッジ(動画) 1名
- 関東甲信越地方協議会千葉部会 5名

2 決算報告

年金経理 (第1年金・第2年金合算)

(単位：千円)

1 収入

区 分	前年度決算額	決算額	対前年度増減額	備 考
掛金等収入	319,031	321,646	2,615	
受換金	31,363	26,363	△5,000	他制度からの積立金の受換
脱退一時金相当額受入金	1,390	10,907	9,516	他のDBからの年金原資の受換
運用収益	164,719	1,802,663	1,637,944	
特別収入	194	286	91	過年度分の過払給付金
計	516,698	2,161,864	1,645,166	

※千円未満四捨五入のため合計が一部不一致の場合がある。

(単位：千円)

2 支出

区 分	前年度決算額	決算額	対前年度増減額	備 考
給付費	336,599	375,718	39,119	
移換金	5,782	8,378	2,596	他制度への積立金の移換
運用報酬等	33,655	35,290	1,635	
業務委託費	25,863	27,354	1,491	
特別支出	0	0	0	
責任準備金増加額	114,770	218,204	103,434	今期増加した将来の給付に備えるべき額
別途積立金積増金	0	1,496,921	1,496,921	
当年度剰余金	30	0	△30	
計	516,698	2,161,864	1,645,166	

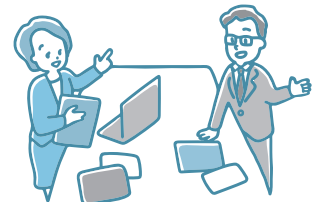
※千円未満四捨五入のため合計が一部不一致の場合がある。

(単位：百万円)

3 保有資産

区 分	前年度決算額	決算額	対前年度増減額
固定資産	9,480	11,194	1,714
信託資産	6,875	8,308	1,433
保険資産	2,605	2,886	281
流動資産	57	62	5
計	9,537	11,256	1,719

※百万円未満四捨五入のため合計が一部不一致の場合がある。



業務経理

(単位：千円)

1 収入

区 分	前年度決算額	決算額	対前年度増減額
事務費掛金収入	54,208	55,206	998
雑収入	91	1	△90
当年度不足金	0	0	0
計	54,300	55,207	908

※千円未満四捨五入のため合計が一部不一致の場合がある。

(単位：千円)

2 支出

区 分	前年度決算額	決算額	対前年度増減額
事務費	48,944	51,965	3,022
代議員会費	1,003	1,102	99
業務委託費	792	792	0
雑支出	1,043	1,113	70
当年度剰余金	2,518	234	△2,284
計	54,300	55,207	908

※千円未満四捨五入のため合計が一部不一致の場合がある。



2023年度 財政検証結果

毎年度決算の際、基金の財政について健全に運営されているか検証を行います。
2023年度財政検証結果は、以下のとおりとなり、基金の財政は健全であることが確認されました。

✓ 継続基準の財政検証

年金制度が将来にわたって継続することを前提に、
年金資産が計画どおりに積み立てられているかの検証。

① 純資産 11,171,398千円
② 責任準備金 8,894,376千円

➡ ① / ② = **1.25** (1.0以上でクリア)

✓ 非継続基準の財政検証

当基金が財政検証基準日に制度を終了すると仮定した場合に
年金給付に必要な額が確保されているかの検証。

① 純資産 11,171,398千円
② 最低積立基準額 6,897,435千円

➡ ① / ② = **1.61** (1.0以上でクリア)

3 資産運用状況

2024年3月末時点の年度通算の運用実績は、総合収益が約1,787百万円、修正総合利回りは、18.73%となりました。

基金の資産構成割合

区分	政策的資産 構成割合 (%)	2024年3月末	
		資産構成割合 (%)	資産残高(百万円)
国内債券	23.0	18.6	2,081
国内株式	19.0	23.2	2,595
外国債券	0.0	0.0	0
外国株式	25.0	29.3	3,287
一般勘定	30.0	25.8	2,886
短期資産	3.0	3.1	345
計	100	100	11,194

(期待収益率 2.95%) (標準偏差(リスク) 7.24%)

運用委託先機関

信託銀行	三菱UFJ信託銀行・ 三井住友信託銀行・みずほ信託銀行
生命保険	富国生命・日本生命・第一生命

なお、当基金の資産運用に関して遵守すべきことについて、「運用の基本方針」(全文を当基金ホームページに掲載しております)に定めておりますので、運用基本方針へのご意見等ございましたら、基金事務局までお寄せください。

短時間労働者

の 社会保険加入義務化に伴う届書の提出について

2024年10月から、厚生年金保険の被保険者が51人以上の企業等で働く、以下の要件にすべて該当する短時間労働者の方は、社会保険の加入が義務化されます。

加入対象
(短時間労働者)
の要件

- ▶ 週の所定労働時間が20時間以上
- ▶ 所定内賃金が月額8.8万円以上
- ▶ 2か月を超える雇用の見込みがある
- ▶ 学生でない



2024年10月1日以降に、厚生年金被保険者となった短時間労働者の方について、それぞれの事業所の就業規則等をご確認いただき、基金への加入が必要な場合は、**資格取得届のご提出**をお願いします。

*基金ホームページ『当基金について』～規約・規程～ 基金規約別表第2(別表第2の2)をご確認ください。

基金事務局からのお願い



年金・一時金のお手続きはお済みですか

当基金では、年金給付の受給権を取得し、退職などで基金の加入者の資格を喪失した方、支給開始年齢に到達した方へ「給付請求手続きのご案内」をお送りしています。

まだ手続きがお済みでない方へ、再度ご案内もお送りしております。

ご案内を受け取りましたら、速やかにお手続きくださいますようお願いいたします。

お手続きが遅れますと、時効により年金や一時金をお支払いできない場合があります。

>>> 年金のご請求について

受給権を取得したときから5年を経過しても年金の請求がないときは、請求日からさかのぼって5年より前の期間にお支払いする年金額が、時効により消滅してしまいます。

>>> 一時金のご請求について

受給権を取得したときから10年を経過しても一時金の請求がないときは、時効により受給権が消滅してしまいます。



年金受給権者・待期者の皆様へ

必要なお手続きがあります

確実に年金をお受け取りいただくために、必要な手続きがあります。

届出がない場合は、基金からの大切なお知らせが届かなくなる、年金の振り込みができなくなるなどのさまざまな支障が生じます。以下の場合には、速やかにお手続きくださいますようお願いいたします。

届出が必要な場合

- 氏名が変わったとき
- 住所が変わったとき
- 年金の受取方法が変わったとき
- 受給権者・待期者がお亡くなりになったとき
(ご遺族の方による届出)
※当基金までご連絡ください。必要書類をお送りいたします。

届書

- 「受給権者異動届」・「待期者異動届」
※当基金までご連絡ください。届書はホームページからダウンロードすることもできます。

Aflac アフラック がん保険のご案内

全環境企業年金基金の皆様へ

割安な団体取扱保険料

基金の加入者様、受給者様、待期者の皆様が
個別で契約するより割安な保険料で加入できるがん保険のご案内です。

まずは募集代理店へ
お気軽にお問い合わせ
ください!



スマートフォンからの
お問い合わせはコチラ



お電話でのお問い合わせはコチラ

0120-329-646

[フリーダイヤル 平日9:00~17:00] 担当: 南雲

- 「個人情報保護方針」等は弊社HP
(<https://www.ry-ins.co.jp/>)に掲載しております。
- 商品の詳細は「契約概要」などをご確認ください。

<募集代理店>

オールワイ保険サービス株式会社

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-10-12

内神田すいすいビル TEL03-6384-0394

<引受保険会社>

アフラック 東京第一法人営業部

〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1

新宿三井ビル20階北 TEL03-6367-3660

2024年
6月2日
新登場



がん保険に
できることを、
もっと。



万が一の保障を備えながら、
将来に向けた資産形成や
老後の生活に向けた
準備をはじめませんか。

資産形成と保障のハイブリッド



AF003-2024-0278 8月7日(260807)